

2017年度町田市教育委員会

第7回定例会会議録

1、開催日	2017年10月6日	
2、開催場所	第三、第四、第五会議室	
3、出席委員	委員 長	佐藤 昇
	委員	八並 清子
	委員	森山 賢一
	委員	坂上 圭子
	教育長	坂本 修一
4、署名委員	委員長	
	委員	
5、出席事務局職員	学校教育部長	北澤 英明
	生涯学習部長	中村 哲也
	教育総務課長	市川 裕之
	教育総務課担当課長	高野 徹
	教育総務課担当課長 (学校運営支援担当)	小宮 寛幸
	施設課長	岸波 達也
	施設課学校用務担当課長	浅沼 猛夫
	学務課長	峰岸 学
	保健給食課長	佐藤 浩子
	指導室長	金木 圭一
	(兼) 指導課長	
	指導課担当課長	野田 留美
	指導課統括指導主事	熊木 崇
	教育センター所長	勝又 一彦
	教育センター担当課長	林 啓
	教育センター統括指導主事	宇野 賢悟

生涯学習部次長	小 口 充
(兼) 生涯学習総務課長	
生涯学習総務課担当課長	早 出 満 明
(兼) 総務係長	
生涯学習総務課担当課長	貴 志 高 陽
(兼) 文化財係長	
生涯学習センター長	板 橋 かおる
図書館長	近 藤 裕 一
図書館市民文学館担当課長	吉 川 輝
(町田市民文学館長)	
図書館副館長	中 嶋 真
書 記	小 泉 宣 弘
書 記	大河内 和歌子
書 記	田 中 みゆき
速 記 士	帯 刀 道 代

(株式会社ゲンブリッジオフィス)

## 6、提出議案及び結果

議案第51号	教育委員会職員の休職に係る処分の臨時専決処理に関し承認を求めることについて	承 認
議案第52号	教育委員会職員の10月1日付け人事異動の臨時専決処理に関し承認を求めることについて	承 認
議案第53号	都費負担教職員の休職に係る内申の臨時専決処理に関し承認を求めることについて	承 認
議案第54号	都費負担教職員の退職に係る内申の臨時専決処理に関し承認を求めることについて	承 認
議案第55号	町田市立学校職員出勤簿整理規程の一部を改正する規程について	原 案 可 決
議案第56号	町田市立学校学校支援地域理事の任命及び解職の臨時専決処理に関し承認を求めることについて	承 認

7、傍聴者数 3名

## 8、議事の概要

午前 10 時 00 分開会

○委員長 ただいまから町田市教育委員会第7回定例会を開会いたします。

本日の署名委員は森山委員です。

日程の一部変更をお願いいたします。日程第2、本日の議案審議事項のうち、議案第51号、第53号及び第54号は非公開案件ですので、日程第3、報告事項終了後、一旦休憩をとり、日程第4として、関係者のみお残りいただいて審議をしたいと思います。これにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○委員長 ご異議なしと認め、そのようにさせていただきますと思います。

以下、日程に従って進めてまいります。

日程第1、月間活動報告に入ります。

前回の教育委員会定例会以降の活動につきまして、教育長から報告をお願いいたします。

○教育長 それでは、前回の教育委員会定例会以降の活動につきまして、1点報告させていただきます。

10月5日(木)、昨日でございますが、ニュージーランドのマウントロススキルグラマースクール、グラマースクールというのは、日本でいうと中高一貫校に当たる学校だと思えますが、その学校の13歳から17歳の留学生12名が、2名の先生に引率されて、町田市役所を訪問されましたので、ご挨拶をさせていただきました。

マウントロススキル校の日本への留学というのは毎年行われているそうですが、今回は10月1日から14日までの日程で行われているそうです。このうちの9日間は、南大谷小学校の保護者の皆様が、12名の留学生のホームステイ先を引き受けてくださっています。南大谷小学校では、留学生の歓迎会のほか、授業や給食をともにするなど、子どもたちとの交流も3日間予定されています。

現在、町田市を初め、東京都の小・中学校では、2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックを機会として、全校でオリンピック・パラリンピック教育というものを推進しています。今回のマウントロススキル校と南大谷小学校の子どもたちの交流は、日本とニュージーランドのお互いの生活や文化を紹介し合い、異なる文化、伝統を尊重し、理解

し合うというまさにオリンピック・パラリンピック教育の趣旨に沿った体験でございまして、将来の国際社会の平和と発展につながるものだと感じております。

留学生たちは、この後も鎌倉や原宿、浅草、ディズニーランドなどにも行く予定になっておりますが、ぜひ日本を楽しんで、思い出に残るような体験にさせていただきたいというご挨拶をしまりました。

そのほかの主な活動は、お配りしております資料のとおりでございます。

私からの報告は以上でございます。

○委員長 事務局から何かございましたらお願いいたします。

○学校教育部長 私からは、9月14日と29日に開催された文教社会常任委員会での学校教育部所管分についてご報告いたします。

9月14日に開催された文教社会常任委員会では、2017年度9月補正予算と2016年度分の決算の認定、そして継続審査になっている請願、行政報告1件について審議いただきました。

9月補正は、経済的理由により就学が困難と認められる児童・生徒の保護者に対し、入学準備金や給食費、修学旅行費などの援助を行う就学援助費の支給額の増額と、小学校の入学前に入学準備金を支払うための増額で、質疑としては市民への周知方法や支給要綱の改正についてなどがございました。

本件につきましては、全員一致で可決すべきものとされております。

次に、2016年度の決算認定につきましては、学校における備品購入費や消耗品費の執行状況、町田第一中学校改築に向けた進捗状況、授業や部活で使用する校庭代替地に関し、柔軟な対応を要望するもの、小学校給食調理や学校用務の委託化を導入している学校での業務の質について、中学校給食の喫食率低下要因の検証について、小・中学校校長会からの予算要望に対する対応状況などの質疑がございました。

決算認定につきましても、常任委員会では認定すべきものとなりました。

次に、いじめ事件に対して真摯に取り組むことを求める請願は、昨年12月議会から引き続きの審議で、この間の経過報告を行いました。裁判中であることから、今回も賛成多数で継続審査となりました。

次に、「(仮称)町田市教育プラン(2019年度～2023年度)」の策定方針や市民意識調査の実施について行政報告を行い、これにつきましては、質疑はございませんでした。

9月29日の文教社会常任委員会は、9月中旬の神奈川県大磯町の中学校給食異物混入報

道を受けて開催されたものです。町田市の中学校給食のうち、9校が大磯町と同じ調理業者であることから、市の対応状況について行政報告させていただきました。

なお、町田市の給食は、大磯町とは異なる工場で調理をしております。

急な事故等で調理業者が給食を納入できなかった場合の対応、調理業者へ立入検査の頻度や内容、市外の事業者を選定した理由などの質疑がございました。

報告は以上でございます。

**○生涯学習部長** 私からは、9月13日に開催されました文教社会常任委員会の生涯学習部所管分の審査につきましてご報告いたします。

生涯学習部は、請願、補正予算、決算認定、行政報告を行いました。

まず初めに、鶴川図書館を鶴川団地センター商店街の中に存続させることを求める請願を受けました。鶴川図書館の存続の可能性や、「新5カ年計画」(2012年度～2016年度)で6館から8館に図書館を増やしたのに、「町田市5カ年計画(17-21)」では再編することの整合性などについて質問を受けた後、検討を始めたばかりで何も決まっていないということにつきましてはご理解いただきましたが、署名が多数集まっていることなどもあり、議会として答えを出すべきということになり、委員会におきましては全員一致で採択となりました。

補正予算につきましては、補助金の金額確定などに伴うもので、質問はありませんでした。

決算認定につきましては、町田市障がい者青年学級の担当者の人数や、文学館の取り組みなどについて質問された後、認定されました。

最後に、排水設備等改修工事に伴う木曽山崎図書館の臨時休館について行政報告いたしました。

以上です。

**○委員長** 教育長及び両部長からの報告につきまして何か質問などありましたらお願いいたします。

他地区で給食への異物混入事件があって、町田市の対応について報告されたということですが、町田市ではどのように対応してきているのでしょうか。

**○保健給食課長** 大磯町の報道を受けた町田市教育委員会での対応は次のとおりです。

町田市が調理業務を委託しているのは、今回の報道にあったエンゼルフーズ株式会社と町田給食センターの2社です。この2社に対して、まず、教育委員会の栄養士が立入検査

を行いました。その後、事業者にも異物混入防止対策の徹底について通知をさせていただいております。

それから、9月26日にエンゼルフーズ株式会社の責任者から事情聴取をいたしまして、異物混入防止対策についての確認をし、指導をさせていただきました。

翌27日に保護者に向けて異物混入の報道に関する対応についての通知を配布するよう学校に依頼をさせていただいております。

以上でございます。

○委員長 あわせてお聞きしたいのですが、町田市民もニュースを通して他地区の様子を聞いた直後はきっとご心配されたと思うのですが、そういう対応をされた後、町田市の保護者といいますか市民は、どのように受けとめているような状況ですか。もしおわかりでしたら教えてください。

○保健給食課長 保護者の皆様にその通知を配布させていただいた後、問い合わせはございません。一定の安心感といいますか、ご納得いただけたものであると考えております。

○委員長 それでは、各教育委員から報告をお願いしたいと思います。

○八並委員 私からは2点ご報告申し上げたいと思います。

この1か月間の活動の中には、特に学校を訪問する機会が多く、いろいろな場面で学校の現状を目にすることができたのは大変有意義だったと思っています。その中から、学校訪問とは別に活動したことについてご報告を申し上げます。

まず1点目、9月28日、町田市中学校対抗連合陸上競技大会に行っていました。これは、公立中学校20校と私立中学校3校が参加しているものです。当日は小雨が降る中、開会式が行われましたが、競技が始まりますと、雨がやみ、時折、晴れ間も見え、競技日和となりました。

今大会には、関東中学校陸上選手権大会、また、全日本中学校陸上選手権大会などに出場した選手がいる中、男子3,000メートルでは、リオデジャネイロオリンピックの日本代表に選ばれた大迫選手が平成18年に出した大会記録を塗りかえる新記録が出るなど、4種目で大会新記録が生まれております。この子どもたちが成長して、2020年東京オリンピックの頃には16歳、17歳、18歳になるわけですがけれども、大きな活躍に期待をしたいと思います。

また、この大会運営には体育科の先生方、それから選手以外の生徒など、競技場の方を初めとして、多くの方に携わっていただいております。皆様のご尽力に深く感謝申し上げ、

今後もこのような形で続けられるといいなと思いました。

次に、9月30日に小学校運動会を見てまいりました。当日は本当に天候に恵まれておりました。1年生は入学してから半年経っていますが、この間の成長が目覚ましく、しっかりと競技や演技に取り組んでいる姿が見えました。また6年生は、小学校最高学年として、よりたくましく行動している姿が見られ、大変感激いたしました。

報道にありますように、騎馬戦や組体操などは、その安全性について議論されているところではございますが、各学校いろいろな工夫をされ、安全に子どもたちが取り組めるように配慮されておりました。

この週末にも2校の運動会が控えております。天候が心配ではありますが、児童が精いっぱい自分の力を出せるよう、その活躍を期待したいと思いますし、ご指導に当たられました先生方、それからご家庭のご協力に感謝を申し上げたいと思います。

私からは以上です。

**○森山委員** 私からは1点、9月25日の午後から行われました市長と教育委員との懇談会についてご報告をいたします。この日は午後から教育委員全員と市長により、懇談会が開催されました。

学校教育の部分におきましては、英語教育の推進について、今後、充実させる必要がある学校のICTの環境の整備について、さらには小・中学校の先生方の働き方改革、いわゆる長時間労働の改善等について情報交換がなされました。

また、生涯学習の分野につきましては、高ヶ坂遺跡の整備事業等についての今後の方向性や対応について積極的な意見交換を行いました。

特に先導的に町田市が進める事業については、ぜひ他地区に先駆けて今後とも進めていただきたいということ、また、学力向上については、学力の低い子どもたちに対して、教育委員会だけではなくて、市を挙げてさまざまな対応をお願いしたいという意見を述べさせていただきました。十分な意見交換がなされた有意義な懇談会になったのではないかと思います。

今後はこのような懇談会あるいは総合教育会議等を通して、ぜひ町田市の教育がさらによりよい方向に進みますように、私たち教育委員も意見の交換や議論をして今後も町田市の教育の推進に寄与したいと思います。

以上です。

**○坂上委員** 私からは1点報告させていただきます。

昨日、国際版画美術館で行われました「浮世絵にみる子どもたちの文明開化」展の内覧会に出席してまいりました。この展覧会は明治時代の文明開化によって社会そのものが変化する中、遊びにも学びにも力いっぱい生きる子どもたちの姿が描かれた浮世絵が300点ほど展示されていました。

西洋の影響を受けて学校教育が始まった明治初期、学校で英語を学ぶ洋服姿の子どもたちの様子や、英語の教材になった浮世絵が色鮮やかに展示され、見ている私たちの目を飽きることなく楽しませてくれました。また、文明開化の伸長と江戸の面影を残した子どもたちの遊びも浮世絵から見ることができ、昔の素朴な遊びを精いっぱい楽しんでいる子どもたちの姿には、思わず笑みがこぼれるほどでした。また、子どもたちが遊んでいる様子の描写はとても細かく、忠実に描かれ、古きよき時代を垣間見ることができました。

今回展示されている作品は、どれをとっても本当に色鮮やかで、小さいお子さんにもわかりやすい解説が作品の横に貼られているので、親子で楽しめる内容になっていると思います。また、学校教育のほかにも、幼年期の家庭における教育や道徳観を描いた浮世絵も多数展示されており、どれも興味深いものばかりでした。出かけるのによいこの季節、ぜひ親子で、または家族で、この展覧会に足を運び、これらの作品を見ながら、この時代の生活や遊びを話題に親子で話をするのはよいコミュニケーションになるかと思います。

今月は、活動報告にもありますように、道徳授業や指導主事訪問で、市内の小・中学校へ何校か訪問させていただきました。どの学校でも大なり小なりの問題があるのですが、私個人がどの学校でも感じたことは、親子のコミュニケーション不足が、いろいろな場面で問題に転じていることです。

今の時代、ふだん親子でしっかりと話す時間や余裕がないのでしょうか。とても悲しいことだと思います。親子間で気持ちがちゃんと伝えられないまま、起きた問題だけがひとり歩きしているように私は思えました。

子どもたちは、本当は、親にどんな小さなことでも話したいし、知ってもらいたいと願っているのだと思います。それが親の毎日の忙しさや疲れ、余裕のなさから、ちゃんと子どもと向き合えず、いつの間にか、すれ違うようになっていくのかもしれない。

今回この展覧会で展示されている作品の子どもたちの姿は本当に生き生きとし、これから訪れる近代社会に夢と希望を膨らませ、キラキラと輝いているようにさえ感じました。これが子ども本来の姿ではないかと思います。また、その子どもたちの成長を見守る大人たちのまなざしを今の大人たちは忘れかけているのではないかと思いました。

この展覧会の会期中は、おもちゃ絵を折ってつくるワークショップを初め、家族鑑賞会や絵本と語りによるおはなし会など、関連のイベントも予定されています。目まぐるしく時間だけが流れてしまう現代ですが、ぜひ何かの折に触れて、親子で話し、向き合う時間を、この浮世絵展の時代のようにできたら、何か変わってくるのではないかと、今回の展覧会を見ながら切に感じました。

私からは以上です。

○委員長 各委員からの報告につきまして、お互いに質問などありましたらお願いいたします。

私から八並委員にお伺いしたいのですが、**連合陸上大会**での様子を先ほどご報告いただきました。大迫選手というのは国民が全てご存じの大選手で、町田市の金井中学校出身で、とても誇らしいわけですが、彼の3,000メートルの記録を破ったということです。連合陸上に出場する各選手は、選手名簿に名前が載ることについての個人情報の許可を得ていると思いますので、記録を破った選手のお名前をこの場でぜひご披露していただければと思いますが、いかがでしょうか。

○八並委員 大迫選手の記録を破ったのは、南中学校3年生の石塚君でございます。1月に行われた全国都道府県対抗男子駅伝に、東京都の代表として選ばれた選手でもございます。

○委員長 ありがとうございます。また今後の活躍を皆さんで応援していきたいと思えます。

ほかに質問などありませんか。――よろしいでしょうか。

以上で月間活動報告を終了いたします。

日程第2、議案審議事項に入ります。

教育長、お願いいたします。

○教育長 議案第52号、第55号及び第56号につきましては、学校教育部長からご説明を申し上げます。

○委員長 それでは、議案第52号を審議いたします。学校教育部長から説明をお願いいたします。

○学校教育部長 議案第52号「教育委員会職員の10月1日付け人事異動の臨時専決処理に関し承認を求めることについて」、ご説明いたします。

本件は、2017年10月1日付け人事異動を命ずるため、2017年9月20日に臨時専決処理を

しましたので、教育委員会において承認を求めるものでございます。

教育委員会から市長部局へ出向した職員が3名、市長部局から教育委員会に配属になった職員が3名でございます。また、昇格した職員が1名でございます。

説明は以上でございます。

○委員長 以上で説明は終わりました。

これより質疑に入ります。ただいまの説明に関しまして、質問などありましたらお願いいたします。――よろしいでしょうか。

それではお諮りいたします。議案第52号は原案のとおり承認することにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○委員長 ご異議なしと認め、原案のとおり承認することにいたします。

次に、議案第55号を審議いたします。

○学校教育部長 議案第55号「町田市立学校職員出勤簿整理規程の一部を改正する規程について」、ご説明いたします。

本件は、東京都立学校職員出勤記録整理規程の一部改正に伴い、関係する規定を整備するため、改正するものでございます。

2枚目をご覧ください。「改正内容」は次のとおりです。

(1) 年次有給休暇、育児時間及び部分休業に関する規定を改めます。(2) 介護時間に関する規定を加えます。(3) その他文言の整理を行います。

施行期日は公布の日から施行し、平成29年9月1日から適用いたします。

3枚目は新旧対照表を掲載しております。

1枚おめくりいただきまして、左側、新しいところ、10、年次有給休暇、18、育児時間、30、介護時間、34、部分休業の部分ですが、新たに時間数を記入できるようにいたしました。

説明は以上でございます。

○委員長 以上で説明は終わりました。

これより質疑に入ります。ただいまの説明に関しまして、ご質問などありましたらお願いいたします。――よろしいでしょうか。

それではお諮りいたします。議案第55号は原案のとおり決することにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○委員長 異議なしと認め、原案のとおり決することといたします。

続いて、議案第56号を審議いたします。

○学校教育部長 議案第56号「町田市立学校学校支援地域理事の任命及び解職の臨時専決処理に関し承認を求めることについて」、ご説明いたします。

本件は、町田市立学校の管理運営に関する規則第13条の4の規定に基づき、別紙のとおり学校支援地域理事を任命及び解職するため、2017年9月21日に臨時専決処理しましたので、教育委員会において承認を求めるものでございます。

任期、2018年3月31日まででございます。

新たに任命する理事が2校で合わせて5名、解職が1校1名、記載されております。

なお、市の任命手続に漏れがございましたので、日付としては、4月1日付が4名、5月1日付が1名でございます。申しわけございません。

説明は以上でございます。

○委員長 以上で説明は終わりました。

これより質疑に入ります。ただいまの説明に関しまして、何か質問などありましたらお願いいたします。――よろしいでしょうか。

それではお諮りいたします。議案第56号は原案のとおり承認することにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○委員長 異議なしと認め、原案のとおり承認することといたします。

日程第3、報告事項に入ります。

教育長から報告をお願いいたします。

○教育長 本日は全部で7件の報告事項がございます。この詳細につきましては、それぞれの担当者からご説明申し上げます。

○委員長 それでは、報告事項(1)につきまして、担当者から説明をお願いしたいと思います。

○学務課長 それでは、報告事項(1)「町田市奨学資金支給条例施行規則の一部改正について」、説明をいたします。

町田市奨学資金とは、学校教育法第1条に規定する高等学校または高等専門学校に在学する者に対して、修学上必要な学資金を支給し、もって有用な人材を育成することを目的

としているものです。

今まで奨学生が休学した場合、奨学金を休止することとなっておりますが、学校教育法施行規則第93条第1項または第176条第1項の規定により、高等学校または高等専門学校の校長が教育上有益と認め、生徒が外国の高等学校等に留学することを許可した場合、その留学を理由に休学している期間もこの奨学金の支給ができるように改正をするものです。

1枚おめくりください。新旧対照表がございますが、第15条に、先ほど申し上げました学校教育法施行規則第93条第1項または第176条第1項の規定による留学については、この限りでないという文言を加えさせていただきました。

説明は以上でございます。

○委員長 ただいまの報告につきまして、ご質問ありますか。

私から、過去に留学のために支給されなかったというケースはあるのでしょうか。

○学務課長 留学をするかもしれないという相談はございましたが、実際に留学に至ったケースはございません。

○委員長 ほかにございませんか。

それでは次に、報告事項(2)に入ります。

○生涯学習部次長(兼)生涯学習総務課長 報告事項(2)「自由民権資料館 第1回特別展『村野常右衛門関係史料』(後期)の実施」について、報告させていただきます。

開催期間は、7月15日から9月3日までの44日間でございます。

展示内容といたしましては、村野常右衛門の家族にかかわる史料、企業経営にかかわる史料などを展示いたしました。

来館者数は1,104人で、前期の「村野常右衛門関係史料」に比較いたしまして、来館者の数は増加いたしました。

ここで訂正をお願いいたします。第4回の定例会で「村野常右衛門関係史料」(前期)の実施について報告させていただきました。その報告の際に、来館者数について、662人と報告いたしましたが、正しくは、そこに書いてありますように1,022人でございます。集計の際のミスでございました。今後はダブルチェックなどミスのないようにいたします。

戻りまして、実施いたしました「5 関連企画」としましては、講演会を2回開催いたしました。合わせて53人の参加がございました。また、ギャラリートーク全3回と、それ以外に団体から予約しての展示解説があり、延べ137人の参加がございました。前期の展示

会から来館者数がわずかながら増加いたしました。開催期間中には特別講座を行うことにより、来館者増につなげることができたことと考えております。

秋の展示会についても、資料館まつりなど、複合的な相乗効果につなげるように、また、民権資料館の職員が館外での講演などを行う際には、積極的にPRをしていき、民権資料館に足を運んでいただけるようにしていきたいと考えております。

報告は以上です。

○委員長 ただいまの報告につきまして、何か質問ございますか。

私からですが、前期は1,022人、後期は1,104人ということです。この人数の把握の際にわかるのかどうかお聞きしたいのですが、前期出て、よかったから、後期も出たというようなリピーター数はわかるのでしょうか。

○生涯学習部次長（兼）生涯学習総務課長 展示の際にアンケートを書きいただいておりますので、その際に、今回の展示はどうでしたかというような設問はあるのですが、リピーター数等々は把握しておりません。ただ、やはり民権資料館はリピーターが多いという傾向があります。

○委員長 ほかにございますか。

それでは、報告事項（3）、お願いいたします。

○生涯学習部次長（兼）生涯学習総務課長 報告事項（3）『『自由民権資料館まつり2017』の開催について』、報告させていただきます。

自由民権資料館では、地域の方々を中心に資料館に親しんでいただくとともに、広く市民に向けて資料館の活動をお知らせすることを目的として、自由民権資料館まつりを開催しております。

昨年度に引き続いて町田自由民権カレッジ同窓会が協力団体として参加いたします。地元地域の野津田町を中心に広報活動を行い、身近にありながら、これまで資料館に来館したことがない市民の皆様の参加を促し、来館者の増加を図ります。

日時、11月3日の「文化の日」です。

催し物は記載のとおりでございます。楽しい催し物をたくさん用意し、秋の1日、資料館へ足を運んでいただきたいと思っております。

説明は以上です。

○委員長 ただいまの報告につきまして、何か質問ございますか。

私からですが、昨年度何人ぐらいの来館者があったかはおわかりになりますか。

○生涯学習部次長（兼）生涯学習総務課長 昨年は370人のご参加をいただきました。うち中学生以下の参加は、107人ということで、中には子どもたちだけでの参加もございました。

○委員長 では、370人を今年度超えられるといいと期待をしております。

ほかにいかがでしょうか。

それでは、報告事項（4）、お願いいたします。

○図書館長 報告事項（4）『『2016年度 町田の図書館』の刊行について』、報告いたします。

図書館では、2016年度の実績等をまとめた「2016年度 町田の図書館」を刊行いたしましたので、報告いたします。

2016年度の主な成果といたしましては、成瀬コミュニティセンターでの予約資料受け渡しサービスの開始、新たな情報発信の手段として町田市立図書館ツイッターの運用開始、市役所各部署の施策をPRするコラボ特集コーナーの設置などがございました。

この冊子は、各図書館の案内や取り組み等をまとめた概要編と、実績をまとめた統計編の2部構成となっております。

概要編では、1、図書館案内、2、2016年度サービス概要及び業務報告など、また、統計編では、1、主な統計・サービス指標の推移、2、資料購入費、3、所蔵冊数など図書館資料に関する事項、4、登録者数、貸出数など利用状況に関する事項を掲載しております。

4の登録者数、貸出数について少しご紹介いたします。冊子は57ページになります。個人登録者数ですが、在住、在勤、在学の町田市分が10万1,025人、あと相互利用の方が1万4,151人で、合計11万5,176人でした。また、新規登録者数は1万1,530人でした。

次に、59ページの右下、総貸出数は約408万点となっております。

58ページの別表にございますが、昨年の7月にサービスを開始した成瀬コミュニティセンターの貸し出しは5,012冊となっております。

最後に、作成部数ですが、200部作成して、都内の図書館、相互利用図書館、図書館協議会委員等にお配りします。また、図書館資料として閲覧・貸出をするほか、図書館のホームページにも掲載をいたします。

報告は以上でございます。

○委員長 ただいまの報告につきまして、質問などありましたらお願いいたします。

○八並委員 質問ではなく感想なのですが、毎年この「町田の図書館」の統計資料

を見させていただいて、非常に市民の方の利用が進んできているのではないかと思うところでもあります。

また、今回ツイッターを始められるということですが、それによって例えばイベントへの参加者が増えたなどの兆しはあるのでしょうか。

**○図書館長** ツイッターの運用の開始が2017年3月ということで、半年程度過ぎた段階ですが、イベント等をツイートしております。実際、例えば講座等に参加していただいた方にアンケート調査して、どのようにこの講座を知ったかを分析しておりますけれども、今のところ、まだツイッターを見て参加したという方はごく少ないのかなと感じております。

**○八並委員** 私もフォローしてツイッターも見始めましたが、本当にタイムリーなツイートがされていると思いますので、もっといろいろな市民の皆様に広く周知され、活用できるようになればいいなと思います。

もう1つ、この中の76ページ、77ページには、他自治体との比較ということがあります。その中でも、町田市はかなり上位の図書館数であり、蔵書冊数、個人貸出数など非常に力を入れていることがよくわかります。市民の皆様、また近隣の自治体との関連などで、図書館の利用件数がより一層増えること、それから、より利用しやすい図書館ができるいいなと思いました。

**○委員長** 私からですが、57ページに個人登録者数などの統計が表になっておりまして、5年度間の推移が数字として出ております。例えば個人登録者数の町田市の合計欄など、また、(2)の新規登録者の合計欄などを見ますと、少し減っている傾向があるように見えるのですが、担当の部署では、この数字の変化についてどのように受けとめていらっしゃるのか、お伺いしたいと思います。

**○図書館長** 今お話があったとおり、個人登録者数については、残念ながら減少傾向にあると認識しております。新規登録者数につきましては、2012年度と2015年度が多く出ているのですが、ここは新しい図書館ができた年でもありますので、その数字の達成はなかなか難しいのかなと思っています。新規登録者数は、例えばその前の年度あたりも1万1,000人程度です。更新手続きをしていただける方が少し減っているのかなと分析しております。ですので、そういった方に引き続き図書館を利用していただけるような努力をしていきたいと思っております。

**○委員長** ほかに質問などございますでしょうか。

それでは、報告事項(5)、お願いいたします。

○図書館市民文学館担当課長（町田市民文学館長） 報告事項（５）『ことばらんどでたからさがし！～中垣ゆたか展』の実施報告について、ご説明申し上げます。

今回、開催期間は、2017年7月15日（土）から9月18日（月）まで56日間、観覧者数としましては、1万485名でした。

「3 関連事業」につきましては、（１）のオープニングイベント「みんなの“たからもの”を描こう！」から（２）のワークショップ、（５）の中垣ゆたかトークショー、（７）の展示解説など、関連事業を行いました。

続いて、「4 開催報告」です。今回は町田市在住の若手の絵本作家、中垣ゆたかさんをご紹介します。第1部では、中垣氏のこれまでの仕事や人となりが伝わる資料を展示し、第2部では、最新刊の絵本『タロとチーコのひみつのだいぼうけん』の世界を体験できる体験型の展示といたしました。こういった中垣氏の全面的なご協力をいただくことで、お子さんたちが自由に想像力を働かせ、作品のおもしろさを感じられる空間とすることができました。

関連事業として、冒頭でも申し上げました子ども向けのワークショップや、一般向けのトークショーなど、多数のイベントを開催しました。特に中垣氏が、会場内でイラストを描くイラスト公開制作を、当初3日間行ったところ、大変好評だったため、最後の3日間、追加実施する運びとなりました。中垣さんを初め、非常に多数の方にご協力をいただいたイベントになりました。

広報については、今回、内部の展示物を撮影可とし、来館者の方に記念撮影していただいたり、ツイッターなどで情報を拡散していただいたりしました。また、各新聞でも取り上げていただいたため、たくさんの方にご来館いただけました。

報告は以上です。

○委員長 ただいまの報告につきまして、何か質問などありましたらお願いいたします。

○八並委員 ご報告ありがとうございます。

私も大変楽しみにして参加させていただいた展示ではございますが、中でも報告の裏面にありますキッズパスポートの達成者が多くいたということです。キッズパスポートというのは、3回来館をして記念品を渡すというイベントですが、達成者が多かったということはリピーターが多かったということで、すごくよい展示だったのではないかと思います。

お尋ねしたいのは、夏休みの事業は、神奈川近代文学館など近隣の自治体の3館と連携の事業でもあると思うのですが、連携事業の参加者数はどのくらいいたかおわかりになり

ますでしょうか。

○図書館市民文学館担当課長（町田市民文学館長） 申し訳ございません。3館連携事業の成果につきましては、今は手持ちの資料がなくわかりかねる状況です。

○委員長 ほかにございますか。

それでは、報告事項（6）をお願いいたします。

○図書館市民文学館担当課長（町田市民文学館長） 報告事項（6）『第11回文学館まつり』の開催について、ご説明申し上げます。

開催日時は、2017年10月22日（日）10時から16時までを予定しております。

開催趣旨としましては、文学館を多くの方々に知っていただくとともに、地域との交流を深める機会として、地元町内会組織などと協働で文学館まつりを開催いたします。昨年と同様に、地域の商店会や町内会の方々が「文学館まつり実行委員会」を立ち上げ、文学館通りを、警察の許可をいただきながら、9時半から15時30分まで歩行者天国にするなどいたしまして、文学館通りに時代行列も通るような内容になっております。

前日、21日は、前日祭として、14時からマンドリンコンサートを開催することになっております。

開催概要につきましてはご覧のとおりですが、文学館通りで和太鼓演奏を行ったり、展示室では、当日、「谷田昌平と第三の新人たち」展も開催したりしております。3階の各室では、折り紙教室やことばらんど寄席などを開催することになっております。

なお、当日、10月22日が衆議院議員選挙の投票日になっておりまして、文学館も投票所になっております。会場が2階の大会議室になったということで、当日、地域を挙げてのイベントが開催されることや、文学館通りが時代祭りのルートになって、大変たくさんのお客様が見える状況だということを選挙管理委員会事務局と情報共有いたしまして、選挙管理委員会事務局でも当日の投票所の会場整理の陣容を厚くしていただくなど、対応をとっていただきます。

また、私ども文学館でも、当初予定していたプログラムの一部を取りやめたり、当初、大会議室で行う予定でしたプログラムを縮小したりするなどし、対応いたします。

当日は、投票所にいらっしゃる方の動線をきちんと確保できるように、会場整理にも当たりながら、混乱のないように対応したいと思っております。

報告は以上です。

○委員長 ただいまの報告の中で、衆議院議員選挙があつて、投票所のスペースを提供し

なければならぬとありましたが、逆に、投票に来られた方に市民文学館の催し物を見ていただくという相互のメリットが出てきそうです。今おっしゃられたように、混乱のないように、ぜひよろしくお願いいたします。

ほかにございますか。

次に、報告事項（7）、お願いいたします。

**○指導室長（兼）指導課長** 報告事項（7）「平成29年度 全国学力・学習状況調査の結果について」、結果がまとまりましたので、ご報告いたします。

実施日は、2017年4月18日（火）、対象は、小学校6年生、中学校3年生でございます。調査の目的につきましては、国が示しているものです。

調査教科等につきましては、国語A、国語B、算数/数学A、算数/数学Bの4つに分かれております。このうちのA問題は主として知識に関する問題、そしてB問題は、主として活用に関する問題となっております。

続きまして、児童・生徒に対する質問紙調査でございます。質問紙調査の内容は、学習意欲や学習方法、学習環境等についてです。また、学校に対する質問紙調査も実施し、指導方法に関する取り組み、また教育条件等の整備に関し、調査をしております。

「5 学力調査の結果」をご覧ください。今年度から平均正答率の示し方に変更がございます。全国につきましては小数第1位まで示してございますが、各自治体や学校等につきましては整数で示しています。

まず小学校の結果でございます。平均正答率で比べますと、町田市の平均正答率は、国語AB、算数ABともに、東京都の平均正答率より2～3ポイント程度下回っている状況でございます。

また、全国の平均正答率と比べますと、国語Aと算数Aは、1ポイント程度下回っておりますが、国語B、算数Bにつきましては、若干上回っている状況でございます。

続きまして、下段、中学校につきましては、国語Aは、町田市の平均正答率が東京都の平均正答率を1ポイント上回っております。また、国語AB、数学ABともに、町田市は全国の平均正答率に比べ、2ポイント程度高くなっているという状況でございます。

2ページの「6 国語、算数・数学における3年間の経年変化」でございます。上段が小学校の平均正答率、また都及び全国との差をグラフに示してあるものでございます。下段が算数になっております。

この2ページは小学校になっております。まず国語Aにおきましては、町田市と東京都

の平均正答率の差は、昨年度に比べて縮まっている状況でございます。一方、国語Bにおきましては、町田市と東京都の平均正答率の差は、3年間で1.4ポイント程度広がっているという状況でございます。

また、算数ABにおきましては、町田市と東京都の平均正答率の差は、算数Aでは1から3ポイント、算数Bでは2.1から3ポイントと、3年間で広がっているという状況でございます。

続きまして、3ページの中学校でございます。中学校も同様に上段に国語、下段に数学となっております。国語Aにおきましては、町田市と東京都の平均正答率の差は、昨年度に比べて1.6ポイント、国語Bにおいては1.1ポイント改善をしております。また、町田市と全国の国語ABの平均正答率の差も1から2ポイント程度広がってきているという状況でございます。

さらに、数学ABにおきましては、町田市と東京都、全国の平均正答率の差が1ポイント程度改善をしているという状況でございます。

おめくりいただきまして、4ページに参ります。最上位校と最下位校との差でございます。表につきましては、上から2015、2016、2017となっております。左側が小学校、右側が中学校となっております。

また、表の中身ですが、最上位校、東京都、町田市、全国、最下位校という形で、最上位校、最下位校とのポイントの差を示してございます。

まず小学校でございますが、国語AB、算数ABの全てにおいて、町田市の平均正答率の最上位校と最下位校の差は3年間で縮まっていることとなります。特に昨年度と比べまして、国語Bでは6ポイント程度、算数Bでは5ポイント程度縮まっております。

中学校の国語B、数学Bにおきましては、町田市の平均正答率の最上位校と最下位校の差は昨年度に比べで縮まっております。特に数学Bでは4ポイント程度縮まっております。また、数学Aにおきましては、3年間で8ポイント程度、こちらは差が広がってきているという状況でございます。

続きまして「8 児童・生徒に対する質問紙調査について」でございます。これは、小・中学校で全国または東京都と比べてプラスマイナス5ポイント以上差があった項目を抜き出しております。

特徴的な2点について、分析を書かせていただいております。上が小学校で下が中学校になりますが、小学校の1番目、中学校の上から2番目の「今住んでいる地域の行事に参

加していますか」という項目でございます。

まず小学校では、町田市は東京都に比べて4.1ポイント上回っております。一方、全国と比較しますと、9.7ポイント下回っているという状況でございます。

中学校では、町田市は東京都に比べて0.3ポイント上回っておりますが、全国に比べますと、9.1ポイント下回っているという状況でございます。

続いて、小学校の上から2つ目、そして中学校の上から4つ目をご覧ください。「将来、外国へ留学したり、国際的な仕事に就いたりしてみたいと思いませんか」という項目でございます。

この設問におきましては、小学校では、町田市は東京都に比べて2.2ポイント下回っていますが、全国に比べますと、5.2ポイント上回っております。また、中学校では、町田市は東京都に比べ0.1ポイント、全国に比べ、8.2ポイント上回っているという状況でございます。

続きまして、6ページから8ページは、全国、東京都、町田市と、上位3校の平均、下位3校の平均を今の調査項目で見たものとなっております。こちらにつきましては、申しわけございませんが、後ほどお目通しをいただければと思っております。

9ページをご覧ください。(2)「平成29年度より新たに質問項目となった項目」でございます。こちらは中学校のみ加わった質問項目でございます。質問内容は「普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、部活動をしますか」ということと、「生徒が回答した選択肢別の平均正答率」を示してあるものでございます。

町田市も、全国も、生徒数の割合のところでも濃く網かけがしてあるところについて見ていただきますと、部活動は「2時間以上、3時間より少ない」といったところのお子さんが一番多く、町田市は47.2%となっております。

続いて多いのは、部活動が「1時間以上、2時間より少ない」お子さんで20.8%。こちらにつきましては、全国と町田市は同じという傾向でございます。

一方、その子たちが学力調査の平均正答率はどうであるかを見た場合、町田市は、国語A問題、数学A問題においては、1時間から2時間、部活動をやっているお子さんたちの平均正答率が高いという状況でございます。また、B問題、活用の問題につきましては、部活動「30分以上、1時間より少ない」といった生徒さんが多いところが、平均正答率が高くなっているという状況でございます。このあたりは、A問題については全国と同じですが、B問題につきましては全国と違いが出ているという状況でございます。

この結果を踏まえて「9 今後の方針」ですが、7点掲げてございます。第1に、平均正答率の低い学校へ学力向上の取り組みの支援を行っていきたいと考えております。第2に、町田市学力向上推進プランに基づきました研究指定校などへの支援及び研究成果の発信をしていきたいと考えております。第3に、学力向上推進プランに基づきました「わかる学力（思考力・判断力・表現力等）」と「できる学力（基礎・基本）」を育成する事業を計画的に展開していきたいと考えております。第4に、学力向上推進フォーラムによる保護者への普及・啓発を図っていきたいと考えております。第5に、教員の授業力向上に関する研修を充実させてまいります。第6に、地域未来塾（放課後学習教室）を充実していきたいと考えております。7点目として、優れた研究を先進的に行っている自治体等への視察を行っていきたいと考えてございます。

報告については以上となります。よろしくお願いたします。

○委員長 ただいまの報告につきまして、質問などありましたらお願いたします。

私からですが、今回の報告は、結果の数字を並べ、その高低差がどれだけあるかという報告でした。私たち教育委員もしなければならぬことだと思うのですが、担当課としても、その数字について、どういう意味があるのか、どういうことが課題なのか、担当課としての考察や見解を示していただければありがたいと思います。

例えば1ページを見ると、小学校は、どちらかという、黒い三角形が目立ちます。しかし、中学校は白い丸が目立ちます。この小学校と中学校の大きな違いをどのように見ればよいのでしょうか。この印だけで大ざっぱに言えば、小学校の結果よりも、中学校の結果のほうがよい、これは何を指しているのかというようなことです。

それから、上位の学校と下位の学校の差が、多くの教科等で縮まっているとありましたが、縮まっていることをどのように捉えたらいいのか、先ほどの報告ではよくわかりません。新聞等の報道でも、都道府県の数字が出ていて、上位と下位の差が大分縮まったとありましたけれども、それはいいことなのかどうか判断しかねるのです。もっと具体的に言いますと、上位が伸び悩んでいて下位が伸びれば、縮まります。逆に、上位も伸びていけば、下位が頑張っても、その差は縮まりません。差が縮まったことをどのように評価すればよいのか、この場では求めませんが、私どもが考える参考としてぜひご見解をお願したいと思っております。

ほかにご質問等ございますか。

○八並委員 ご報告ありがとうございます。

各学校で先生方のお話を聞きますと、学力に関しても、学校ごとに非常に二極化の傾向があるというお話を伺っております。平均値ということで数値としてあらわすと、二極化傾向の部分が見えにくくなってしまいますので、そのようなところの分析結果もお知らせしていただければと思いますし、そのような場合の対策の手だて、特に学力の低い児童・生徒に対する取り組みなどについては、非常に手厚く考えていただきたいなと思うところがございます。

○森山委員 ご報告ありがとうございました。

私からは3点、話をさせていただきます。

1点目は、恐らく今後詳細な分析が行われるかとは思いますが、特に各学校において、この結果を踏まえた分析を、どのようにお進めになるのかをお伺いしたいと思います。

2点目は、今、委員長や八並委員からもお話がございましたが、今回出た結果の背後にある要因の分析が必要かと思えます。結果の考察をぜひ詳細にお進めいただければありがたいと思えます。いろいろな要因について、それぞれの学校の特徴もあるかと思えますので、その特徴を踏まえて詳細な分析をお願いしたいと思います。

3点目は、「9 今後の方針」の中で、非常にしっかりとした方針をお示しいただきました。特に（5）に「教員の授業力向上に関する研修の充実」を掲げておりますけれども、この方向についてもう少し具体的な内容をお話しいただければありがたいと思えます。

○委員長 森山委員の質問の1点目と3点目は、ぜひこの場でご回答いただければと思いますがいかがでしょうか。

○指導室長（兼）指導課長 森山委員のお話については、先ほど委員長からお話いただいたところと関連している点もあるかと思っております。

まず各学校の分析についてでございます。各学校では、全国学力・学習状況調査、さらに東京都の児童・生徒の学力向上を図るための調査、こちらの分析をあわせて行いながら、結果を授業改善推進プランに反映をさせていただきます。

学力調査は、学校ごとに、子どもたちがA層～D層のどこに位置しているかも見えてきますので、八並委員からもお話がございましたが、二極化の傾向が学校ごとにあるかどうか、また、A層～D層の中で、D層からC層に、C層からB層にどのように移行しているかを含めて分析をしていきたいと思っております。分析結果を踏まえて、授業改善が効果的に行われているのか、あまり効果がないのであれば、そこにさらなる手を打っていただければいけないといったところで、授業改善推進プランをもとに、各学校での取り組みを進め

てまいります。

2点目の結果の考察につきましては、先ほど委員長からもお話がありました点で、例えば資料の4ページに3年間の結果を示してございますが、やはり詳細な分析をしていく必要があるだろうと考えております。

例えば2015年度の最下位校と2017年度の最下位校では、東京都の平均正答率と比較しますと、最下位校は上昇してきており、ポイントが縮まってきています。一方で、最上位校につきましては、ポイントが下がってきており、東京都の平均正答率との差が縮まってきているという状況にあります。このような分析をただけでも、全体的に差は縮まっているけれども、最上位校については、そこを伸ばしていかなければいけないという課題があるという認識をしております。これにつきましては、さらなる詳細な分析を続けていきたいと考えております。

3点目の研修の充実についてでございます。この学力調査の結果につきましては、顧問、代表の校長、教育委員会事務局で構成される学力向上推進委員会で分析していきたいと考えております。さらに、若手研修と言われる1～3年次研修では、計画的に、学習指導案の作成から授業の基礎・基本に特化した内容の研修を実施したり、4年次研修では、授業力アップ研修などを実施したりしたいと考えております。また、調査の結果を受けて各校が研究主題に設定した取り組みを、研究主任会や教務主任会で情報発信し、各校の取り組みに生かしていただきたいと思っております。

以上でございます。

**○委員長** ほかにございますか。

私からですが、9ページの「9 今後の方針」の各方針は、いずれもそのとおりだなと思っておりますが、大事なことは、この方針に基づいて、具体的に効果的な方策を実行することだろうと思うのです。方針を立てただけで具体的な方策についてはこれから検討するのかもしれませんが、今日の時点でこんな方策を考えているというのがありましたら、「(1) 平均正答率の低い学校へ学力向上の取組の支援」、「(5) 教員の授業力向上に関する研修の実施」、「(7) 優れた研究を先進的に行っている自治体等への視察」、このあたりで、ご紹介していただきたいと思っております。

**○指導室長（兼）指導課長** 「今後の方針」の(1)、(5)、(7)の具体的方策は次のとおりです。

(1)「平均正答率の低い学校へ学力向上の取組の支援」につきましては、まず指導主事

が学校訪問しまして授業観察を行います。各学校で学力調査の分析を行っておりますが、そこに指導主事も一緒に加わり、授業観察で気づいた点等を踏まえて、各学校が作成した分析結果をもう少し詳細に分析し、それを授業等の取り組みに生かしていくということを考えております。

さらに、東京都には、学力向上加配校の制度がございます。これは申請の要件がございますが、その要件に合う学校については申請を出していきたいと思っております。2017年度は1校に加配がされている状況でございます。加配される学校を増やしていくように、東京都にも要望をしていきたいと考えております。

(5)「教員の授業力向上に関する研修の充実」についてでございます。今後の方向性につきましては先ほど答弁させていただきましたが、現在の研修計画の中身をより濃くしていかなければいけないと考えております。例年同じような研修の内容では、成果は得られないので、学力調査の分析をもとにした研修内容していきたいと考えております。特に今年度につきましては、今研修計画を立てて実行しておりますが、変更できる部分については変更して改善し、次年度の研修計画は見直していきたいと考えているところでございます。

(7)「優れた研究を先進的に行っている自治体等への視察」についてでございます。こちらにつきましては議会等でもご質問いただいているところでございます。陰山メソッドとは、基礎学力の向上、また生活習慣の確立を取り組みとするものでございますが、今年度、この取り組みを自治体として実施している福岡県飯塚市へ、指導主事と教員を4人派遣いたします。派遣時期は11月を予定しております。

派遣する4人の教員の内訳につきましては、学力向上チャレンジ校で、基礎・基本の取り組みをしている学校がございますので、そこから1名、また、基礎的な学力に課題がある児童・生徒に対して、主体的に学習に取り組む習慣を養うことを目的とした学力向上プラスワン研究校から3名です。授業視察のほか関係者から話を伺う予定です。視察から戻りましたら、その成果を各学校に発信していきたいと考えているところでございます。

以上でございます。

**○委員長** 現在、小学校42校、中学校20校ありますが、(1)の「平均正答率の低い学校へ学力向上の取組の支援」というのは何校ぐらいを想定しているのですか。

(5)については、私の意見ですが、教員といっても、何人もおります。私ども教育委員も指導主事も学校訪問などした際に、それぞれの授業の様子を見させていただいていま

すが、確かに指導力のすぐれた教員がいる一方で、もっと力をいれなければいけないなど感じる教員もいるわけです。教員全てとは言いませんが、大部分の教員の授業力が向上することを目指した研修を工夫していただくことを要望します。

(7) ですが、これもマスコミの情報なので、どこまで確かかわかりませんが、学力テストの結果が出るたびに、幾つかの県が常に上位だということで、その県の取り組みについて紹介されたりしておりますが、そういう県の情報を集めたり、場合によっては視察に行ったりすることも考えていただくとよいかと思えます。

学力テストの結果がよい県は、学力向上策よりも、地域の取り組みとか、地域性のようなことが大きな要因だと示されているのを見たこともありますので、学力の向上を支える要因は何なのか、学校の先生を責めているだけでは恐らく結果が得られない部分もあるのではないかなと思いますので、ぜひ広くそういう情報収集もお願いしたいと思えます。

それでは、(1) についてはお伺いしたいと思います。

○指導室長(兼)指導課長 町田市は平均正答率よりもさらに10ポイント以上差がみられる学校にまずは支援をしていきたいと考えております。

○委員長 指導主事が派遣されるということですが、もし相当大変なことであれば、今度は事務局の指導主事の支援体制を考えなければならないと思うのですけれども、およそ何校くらいが想定されますか。

○指導室長(兼)指導課長 小・中学校合わせて10校ぐらいを考えております。

○委員長 わかりました。

ほかにご質問などありますか。

○図書館市民文学館担当課長(町田市民文学館長) 報告事項(5)における八並委員からのご質問に対して、私の発言の一部訂正と補足をお願いしたいと思います。

先ほど八並委員から、鎌倉文学館、神奈川近代文学館を含めた文学館スタンプラリーの参加者のお尋ねがございました。私どもことばらんどにお越しいただいた達成者として29名になっておりまして、これは報告事項(5)の3「関連事業」の中、「文学館スタンプラリー 達成者:29名」ということで明記させていただいておりましたが、その他、鎌倉文学館及び神奈川近代文学館で何名の方が達成されているかにつきましては、今、手元には資料がなくお答えができません。

以上です。

○委員長 ほかにご報告ございますか。――よろしいでしょうか。

以上で報告事項に関する質疑を終了いたします。

休憩いたします。

午前 11 時 22 分休憩

---

午前 11 時 23 分再開

○委員長 再開いたします。

別紙議事録参照のこと。

○委員長 以上で町田市教育委員会第 7 回定例会を閉会いたします。

午前 11 時 30 分閉会